

こんじゅう

今週のことば「インマヌエル」

せいしょ

ふくいんしょ

《聖書》マタイによる福音書 1:18-24

イエスの名

なとうじ

「イエス」という名は当時のイスラエ

なまえ

ルではめずらしい名前ではありませんで

した。「イエス」はヘブライ語の「ヨシ

ニヤク しゅ すく

ュア」のギリシャ語訳で、「主は救う」

いみ

という意味があります。

な

「ナザレのイエス」という名はイエス

しゅっしん

こと

しめ

ふつう

の出身がナザレであった事を示し、普通

ひとよときつか

に人を呼ぶ時に使われていました。

なとくべつい

「インマヌエル」という名は特別な意

みこ

かみ

わたし

とも

味が込められていて、「神は私たちと共に

いみ

にいる」という意味があります。

共にしる神

とも

かみ

聖書では神の名をみだりに唱えてはい

とな

けない(出エジプト記20:7)と教えられて

かみおそ

かた

こん

います。それは、神が恐れおおい方で人

げんちか

おも

間はとても近づけないものと思っていた

からです。

しゃつ き しゅう かみ

しかし、出エジプト記3章では、神が

たみつか

モーゼをイスラエルの民に遣わすにあた

かなら とも

って、『わたしは必ずあなたと共にいる』

ほしょう あた

ほんとう

(3:12)という保証を与えていました。本当

かみまことこと

にんげん

かみ

は神の前に立つ事ができない人間も、神

たこと

のいつくしみによって立つ事ができるの

です。

かんが

このように考えると、「インマヌエル」

よな かみ とも

きゅう

という呼び名は、神が共にいるという旧

やくせいしょ かみ な いっち

約聖書の神の名に一致します。そして、

しょ よ けん じつけん つか

イザヤ書7:14の預言の実現として使われ

ています。

でし とも

イエスの弟子たちは『共にいる』(マ

ことば ささ

タイ18:20, 28:20)という言葉に支えられ

ざせつ たちなお きょうかい あつ も

て、挫折から立直り、教会の集まりを持

かみつか ひとびと こと

ち、神の使いとして人々にイエスの事を

つた わたし とも かみ

伝えていきました。私たちも共にいる神

ちから ふくいん あか びと

の力によって、福音の証し人となれるの

です。

たいこうせつだい しゅじつ ねん たきの

待降節第4主日A年(滝野)